

ありがとう神田東小学校

神田東小学校は、138年間の歴史を経て、来年3月に閉校します。わたしたち6年生が最後の卒業生となります。

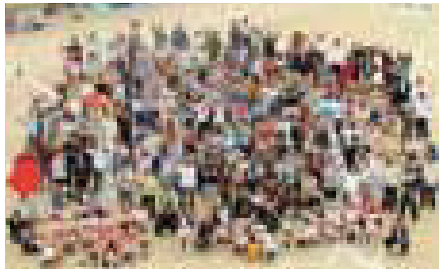
神田東小学校には、22年間、先輩から後輩へと受け継がれてきた伝統芸能「少年白龍太鼓」があり、毎年多くの場所で発表してきました。

また、学校近くに住んでおられる方の田んぼをお借りして行う「田んぼの学校」の活動（どろんこ運動会、牛でしろかき、田植え、稲刈り、千歯で脱穀、収穫祭など）では、昔ながらの農業体験をし、地域の方々の心の温かさ、支え合うたくましさ、自然の豊かさを感じ取ることができました。

これら様々な学習をとおして、わたしたちは今まで以上に、ふるさと上徳良を愛し、誇りに思うことができるようになりました。そして、このように、優しく温かく見守ってくださる地域の方々とともに育つわたしたちは本当に幸せだと思っています。

5年生以下の後輩たちは、来年4月から大和小学校で学びますが、神田東小学校で学んだことを誇りに思い、学んできたことを十分に発揮して、立派な大和小学校の児童になってほしいです。わたしたちは、次のステップ大和中学校でよき生徒になるよう、神田東小学校で学ぶ1秒1秒を大切にしていきたいです。

ありがとう神田東小学校
ありがとう上徳良のみなさん



わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します
— 連載第10回 —

やっさへの思い

「一、ちょん。二、ちょん。一・二・三ちょん…。」

みんなが口ずさむこのリズムを聞くと自然と体が動き出す。私は、以前から家族や親戚と一緒にやっさ祭りに出ています。みんなと一緒に大きな声を出し、リズムに合わせて踊るやっさがとても楽しくて、大好きです。

田野浦小学校では、3年前から『やっさ田野浦』の練習をはじめました。『やっさ田野浦』の三代目として歩みだした私は、先輩から受け継いだやっさの伝統を守り、やっさへの熱い思いを踊りに込めて練習に取り組んでいます。

やっさは、だれでも楽しく踊ることができるし、歴史も深いものがあることを三原やっさ祭り振興協議会の江曾先生に教えていただきました。私が生まれてくるずっと前から受け継がれてきている三原のやっさは、私の自慢であり誇りです。

以前、三原市外からやっさ祭りを見に来てくれた人にこんな言葉をかけてもらったことがあります。

「三原のやっさはすごい!」

この言葉を聞いた時、だから私も愛されているやっさはすばらしいと思いました。

やっさは、人と人をつないでくれるものだと思います。10年後、20年後、仲間が三原から離れ、ばらばらになつてしまつても、やっさ祭りの時は、みんながふるさとを思い出し、やっさを踊りに三原へ帰ってくる、そんなふうにいづまでも仲間をつなぐやっさにしていくことが私の夢です。

